

備前市事務事業評価表

事務事業名	中央公民館運営事業	コード	03-02-04-08
		担当課・係	備前地域公民館
		担当者	藤田 かおり
事業実施期間	昭和56年～	電話	64-1133
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	公民館（指導者の育成・文化活動の推進）	

事業について	
目的 (何のために)	市民の教育、学術及び文化の向上に資する各種の事業を行うことで、教育の向上・健康の保持増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること
対象 (誰・何を対象に)	市内在住者
内容	文化事業の開催及び各種団体との連絡調整を行う。 市民の集いやその他公共的な催しに利用してもらう。公民館運営審議会の開催。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
定期講座参加者数	142 人	180 人	
公民館運営審議会開催回数	2 回	3 回	
文化祭出展者数	189 人	198 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	1,776	国・県補助金等		直接事業費	1,048	国・県補助金等				
	人件費	15,000	受益者負担		人件費	6,620	受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	16,776	一般財源等	16,776	合計	7,668	一般財源等	7,668	合計	0	一般財源等	0

必要人員	195 人	100 人	
結果指標名	定期講座参加者数	定期講座参加者数	
結果指標量	142	180	
単位	人	人	
対前年比	-	126.76%	0.00%
活動にかかるコスト	140,000 円	260,000 円	
単位当たりコスト	986 円	1,444 円	
結果指標名	文化祭出展者数	文化祭出展者数	
結果指標量	189	198	
単位	人	人	
対前年比	-	104.76%	0.00%
活動にかかるコスト	271,250 円	278,444 円	
単位当たりコスト	1,435 円	1,406 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	多くの市民に参加してもらい、教養の向上・生活文化の振興や交流を図る。		
成果指標名	定期講座参加者数	式又は説明	中央公民館（備前地域公民館）での主催講座における参加者数
	17年度	18年度	
成果指標量	142	180	
対前年比	-	126.76%	0.00%
到達目標値	200	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 社会教育法第20条	妥当性評価<A~E> D
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	備前・日生・吉永地域公民館と13地区公民館の総協を行っているが、市民を対象にした文化振興に関する事業を行っている。ただ、合併前の備前・日生、吉永の公民館の業務形態が異なることから、市民公平な公民館活動にはなっていない。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	3地域公民館で行っている講座は、市民からの要望もあり実施しているが、受講者が同じで高齢化が目立つ。新たな講座については、市民の要望を取り入れ計画した。永年実施している講座については、公民館グループとして自立ができるよう指導していく。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	毎年同じ講座を開設していることから、新たな参加者の獲得には結びついていないのが現状である。

平成19年度状況		説明 昨年度、好評だった講座の継続するとともに、新たに備前焼講座を開設し、日生、吉永からの参加を募った。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 170	結果指標量 200
	成果指標量 200	

総合評価	3館での文化活動の実施及び講習会等は適正に行われているが、3館間での格差は歪めない。	評価区分 <A~E> C
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	3館公民館の事業の調整	平成20年度	市民が平等で均等な公民館事業に参画する。